

本校は、昭和37年（1962年）高度経済成長最盛期において、工業立国を目指す産業界の要請と地域産業の発展に寄与する技術者育成の期待を担って、機械科、電気科、土木科、建築科の4学科で開校し、平成24年創立50周年を迎えた工業高校であります。卒業生は11,879名を数え、県内はもとより日本各地において産業界の第一線で活躍しており、中には海外を活躍の舞台としている卒業生も数多くおります。

現在は機械科、電気科、土木・建築科の3学科からなり、各学年4クラスの計12クラス、生徒定員420名です。電気科では電気コースと電子コース、土木・建築科では土木コースと建築コースがあり、それぞれ2年次から希望によりコース選択ができるようになっております。

今、私たちの暮らす社会は、少子高齢化や人口減少が進み、様々な分野で日々大きな変化を遂げています。本校もその時勢の中で、「自ら学ぶ意欲と創造性に富み、心豊かな人間を育成する。」ことを教育目標として、「正・忍・創」の校訓を信条に、一致団結して教育目標を達成するため、毎日の教育活動に取り組んでいます。各学科においては、基礎・基本の充実を図るとともに、高度な資格取得に挑戦し実績を残しています。また、ものづくり教育においても各種コンテスト等での東北大会、全国大会での上位入賞など着実な成果を上げています。平成28年度第22回土木系学生によるコンクリートカヌー大会では、9年ぶり2回目の総合優勝を果たしました。さらに、地域の小・中学校と連携した活動も高い評価をいただいております。

進路指導においても、計画的できめ細かい指導により、生徒達の希望を叶えた進路達成状況となっております。部活動では生徒の90%以上が何らかの部に所属し、毎日の厳しい練習に取り組んでいます。平成28年度第98回全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）に初出場した野球部をはじめ、多くの部がインターハイや東北大会などの上位大会に出場し活躍しています。

平成26年12月に体育館および実習棟の改築工事が完了し、これまで以上に教育環境が充実する中で、生徒一人一人がそれぞれの目標をきちんと定め達成するための努力を積み重ねてくれるものと期待しております。そして、その成果をしっかりと見せてくれるものと信じております。

今後とも地域、保護者、同窓生の御協力を得ながら地域社会や産業界に貢献できる人材育成を目指し教育活動を展開して参ります。皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

平成29年4月

秋田県立大曲工業高等学校

校長 佐藤隆志